



# 元素記号 缶バッジ

1回 ¥100 (2個入り)

~第5弾~



<p>ウランと中性子を合成してできた人工元素です。元素番号92のウランが天王星にちなんでいることからその次の惑星である海王星から命名しています。</p>	<p>キュリウムとカルシウムイオンを合成してできた人工元素です。2012年に元素名が正式に決まりました。</p>	<p>水素の次に軽い元素です。地球上ではあまりにも軽いので、宇宙空間へと飛び去ってしまい、ごくわずかしが残りません。</p>	<p>軽くて強いので、工業機械や、航空・宇宙分野の機械部品でも活躍しています。</p>	<p>空気中の約78%を占める無色透明で無臭の気体です。アミノ酸のもとにもなったり、肥料に必要な3大要素のうちの一つとしても有名です。</p>
<p>非常に反応性が高い元素であり、ネオンとヘリウム以外のすべての元素と反応します。歯磨き粉の成分などに入っています。</p>	<p>他の金属に比べて、導電性が高く、軽くて強く、加工しやすい金属です。1円玉から航空機まで幅広く使用されています。</p>	<p>植物や人体に欠かせない栄養素。反応性が高く水にふれると炎を上げて激しく燃えます。</p>	<p>他の金属より強度が高く軽い。さらに耐熱・耐食性にも優れており、眼鏡のフレームや航空機などの素材に欠かせない金属です。</p>	<p>非常に高い強度と耐腐食性が特徴の金属です。塗料や光沢のあるめっきなどにも使われます。</p>
<p>湿った空気や海水などで錆びやすい金属です。電池の材料や銅との合金「真鍮」は5円玉や金管楽器などに使われています。</p>	<p>ケイ素と似た半導体性をもつ半金属です。20世紀の中心は、トランジスタの材料としてラジオなどに使われていました。</p>	<p>光を当てると電気の伝導性が増えるという性質を持ち、コピー機やファクスの誕生に貢献しました。</p>	<p>約マイナス263℃以下で電気抵抗が0となり超伝導体となる性質をもちます。リニアモーターカーなどの電磁石のコイルに使われます。</p>	<p>反応性が低いため、腐食に強い性質をもちます。また、ハードディスクの大容量化することを可能にしました。</p>
<p>反応性が高く、水に触れると爆発します。セシウムを利用した原子時計は精度が高く、GPSにも使われています。</p>	<p>紫外線を吸収する性質をもっているため、サングラスや自動車の窓などの素材となります。</p>	<p>ブラウン管の色鮮やかな赤色を発色するために使用されました。現在は、LED電球などに使われています。</p>	<p>高い磁性をもつ金属です。体の中の様子を撮影するために、MRI用の造影剤などに活用されています。</p>	<p>工業用のレーザー添加物などに使われています。スウェーデンのイッテルビーという地名にちなんで命名されました。</p>
<p>人工的につくられた放射性元素です。長くても数時間しか存在できず、別の元素に変わってしまいます。</p>	<p>強い放射能をもち、暗い場所では青白く発光します。普段は銀白色の金属です。</p>	<p>「アクチニウムの原形」を意味する名前です。時間がたつとアクチニウムになるので、この名前になりました。</p>	<p>放射線の研究で有名なキュリー夫人にちなんで命名されました。</p>	<p>ビスマスと鉄イオンを合成した放射性元素です。プロトアクチニウムを発見したリーゼ・マイトナーが名前の由来です。</p>